

安全健康 経営白書 2025

オーエスジー株式会社

人事総務部総務グループ
安全健康推進事務局

O
S
G



CONTENTS

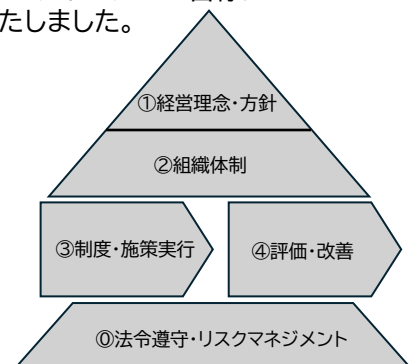
会社概要 オーエスジー経営基本方針 トップメッセージ	2
中期経営目標(2025-2027年) オーエスジーグループのマテリアリティ 安全健康経営の理念	3
オーエスジー安全健康経営宣言	4
安全健康経営サポート体制 安全健康経営推進マネジメント体制 全社安全衛生委員会構成	5
安全健康の深化	6
安全健康推進教育体制 サプライチェーンやグループ会社に対する安全健康の取組	7
安全戦略マップ/健康戦略マップ	8
安全活動 社員を守る活動	9
衛生活動 社員が元気になる活動	13
社会活動 社会貢献する活動	17
安全健康推進事務局だより2025 データベース	19

編集方針

オーエスジーは、2021年度から安全健康に関する詳細情報をステークホルダーの皆様にご提供することを目的に、5つの側面で「安全健康経営白書」を発行いたしました。

- ①経営理念・方針
- ②組織体制
- ③制度・施策実行
- ④評価・改善
- ⑤法令遵守・リスクマネジメント

オーエスジーは、労働安全衛生法に基づき安全衛生管理体制を構築し、実施をしています。



会社概要(2024年11月30日現在)

会社名: オーエスジー株式会社
本社: 〒442-8543 愛知県豊川市本野ヶ原三丁目22番地
TEL:(0533) 82-1111 (代表)
代表者: 代表取締役会長 石川 則男
代表取締役社長 大沢 伸朗
設立: 1938年3月26日
資本金: 130億44百万円
売上高: 連結 155,517 百万円 / 単独 56,411 百万円
従業員: 連結 7,674 名 / 単独 1,873 名
事業内容: 切削工具・転造工具・測定工具・工作機械・機械部品の製造販売、工具の輸入販売
HP: <https://www.osg.co.jp>

オーエスジー経営基本方針

- ・ 企業は社会の公器であることを常に自覚し、顧客に喜ばれる製品を提供します。
- ・ 社員には、職場の適正配置と生活の向上を図ります。
- ・ 株主には適正な安定配当を行うように努めます。
- ・ 社会的な信頼を高めつつ堅実な経営を行い、世界的企業に発展するように努めます。

トップメッセージ

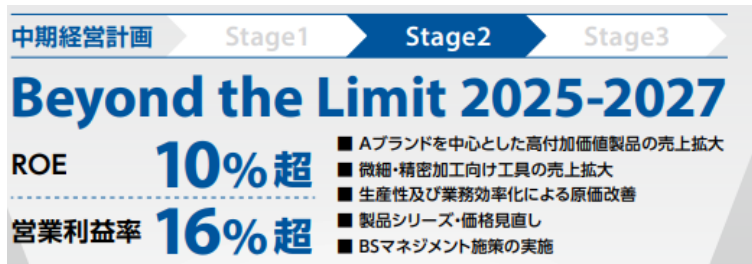


オーエスジーは1938年設立以来、精密切削工具の製造・開発に取り組んで参りました。人々が便利さを感じ、経済面や環境面で安定して生活をしていくためには産業と技術の革新は欠かせません。一方で、近年は効率性や利便性の追求だけでなく、地球環境などにも配慮したサステナブルな社会づくりへの取り組みも大変重要な経営課題となってきています。

2022年1月、当社は2022年11月期を起点とする3か年の中期経営計画「Beyond the Limit 2024」を発表しました。「Beyond the Limit」という言葉には、「限界の向こうへ、限界を設けない、自らの殻を破る、常識を打破する」という決意を込めています。2030年11月期までを期間とする長期ビジョンにおいては、世界のモノづくり産業に貢献するエッセンシャル・プレーヤーとして、カーボンニュートラル時代に本格的に移行する2030年を見据え、いかなる変化にも対処しうる盤石な企業体質の構築を目指します。不確実性の多いこのVUCA* 時代だからこそ、更なる成長を目指していくために「地球会社」という企業理念のもと、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

*VUCA:先行きが不透明で将来の予測が困難な状態

中期経営目標(2025-2027年)



オーエスジーグループのマテリアリティ(重点課題)

マテリアリティ	重点テーマ	取り組み
事業を通じた モノづくり産業への貢献	主力製品トップのグローバルシェア拡大	・高品質・高付加価値な製品シリーズのグローバル展開
	事業ポートフォリオの最適化	・微細精密加工向け市場の開拓
	新規事業・アフターサービス事業拡大	・再研磨・コーティング事業のグローバル展開
人財の尊重と 活躍できる環境の整備	従業員エンゲージメントの向上	・働きやすい環境・制度の推進 ・安全健康経営の推進
	人財の能力向上と戦略的な人員配置	・次世代リーダー・経営リーダー育成 ・プロフェッショナル人財の活躍推進
	多様性の尊重	・女性・障がい者の活躍推進 ・人権の尊重
持続可能な 地球環境への貢献	カーボンニュートラルの実現	・運用改善・省エネ機器導入 ・オンサイト・オフサイトPPAの導入/CO2フリー電力購入
	ユーザーの環境負荷低減	・環境に配慮した新製品の開発
持続的成長を実現する ガバナンス体制の 維持・強化	コーポレート・ガバナンス体制の確保	・業務執行の監督機能の強化 ・実効性の高い執行体制の構築
	グループ・ガバナンス体制の構築	・関係会社管理規程によるグループ・ガバナンスの強化
	リスク・コンプライアンス管理の徹底	・情報セキュリティ対策の強化 ・事業継続計画の策定と定期的な防災訓練の実施



オーエスジー公式キャラクター
タップくん

▶安全健康経営の理念

オーエスジーは、1996年「地球会社」「健康会社」「環境に優しい会社」を宣言し、2014年にはオーエスジーブランドの目指す姿を「shaping your dreams」(お客様の夢をカタチに)の言葉に託し、タグラインとしました。社員ひとりひとりが「明るく」「楽しく」「元氣よく」日々仕事に取り組む環境づくり、そして、「企業は社会の公器である」を理念に、地域・社会・地球の持続的発展に貢献することが豊かな未来づくりと考えています。

創立100周年にむけて、さらに強く輝く「地球会社」として、人づくり・モノづくりをとおり、人・社会・地球のウェルビーイングを追求し、夢をかたちにしていきます。

▶オーエスジー安全健康経営宣言

社員のウェルビーイングを追求し、社員・家族・お客様・地域・社会・地球の豊かな未来づくりに貢献します。

ひとりひとりすべての社員が生き活きと活躍できる職場環境づくり。
その先には、きっと素晴らしい未来が広がると信じています。
オーエスジーは、ひとりひとりをしっかりと後押しができる企業であり続けたいと考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「地域・社会」
豊かな環境づくり

SDGsへの貢献 ESG経営の強化

「人」
ひとりひとりが
生き活きと活躍
できる環境づくり

社員の行動変容

安全意識向上
心身健康増進

働きやすさ
健康の感受

働きがい
生きがいの充実

ウェルビーイング

会社の取り組み

安全

朝来た体で
夕方帰る

安全体感研修



危険を体感し安全意識向上を促す

役員パトロール



役員による職場環境パトロール

交通立哨



社員・地域の交通安全を啓発する

新入社員安全教育



安全の基礎を学ぶ

健康

心身良好に
活躍できる
環境づくり

身近な健康相談窓口の設置



産業医・カウンセラー・ヘルススタッフ対応

健康施策の実施



ウェルビーイング向上に向けた活動

健康な食事の提供



バランスのとれた社食提供

コミュニケーションの促進



社員・家族参加の福利厚生

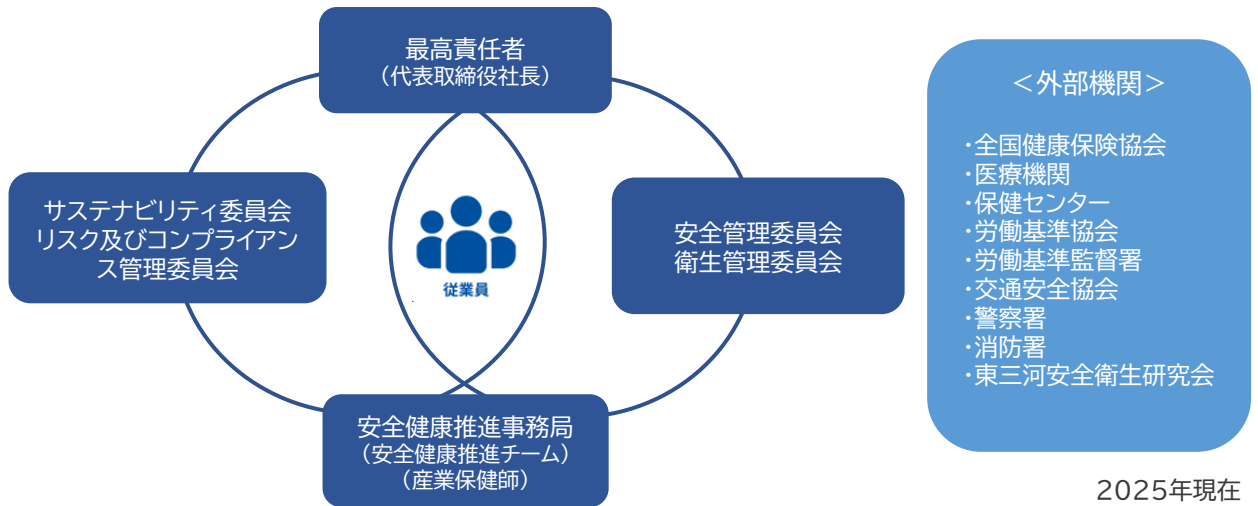
▶安全健康経営サポート体制

各事業所、社員の安全・健康のための活動をしています。

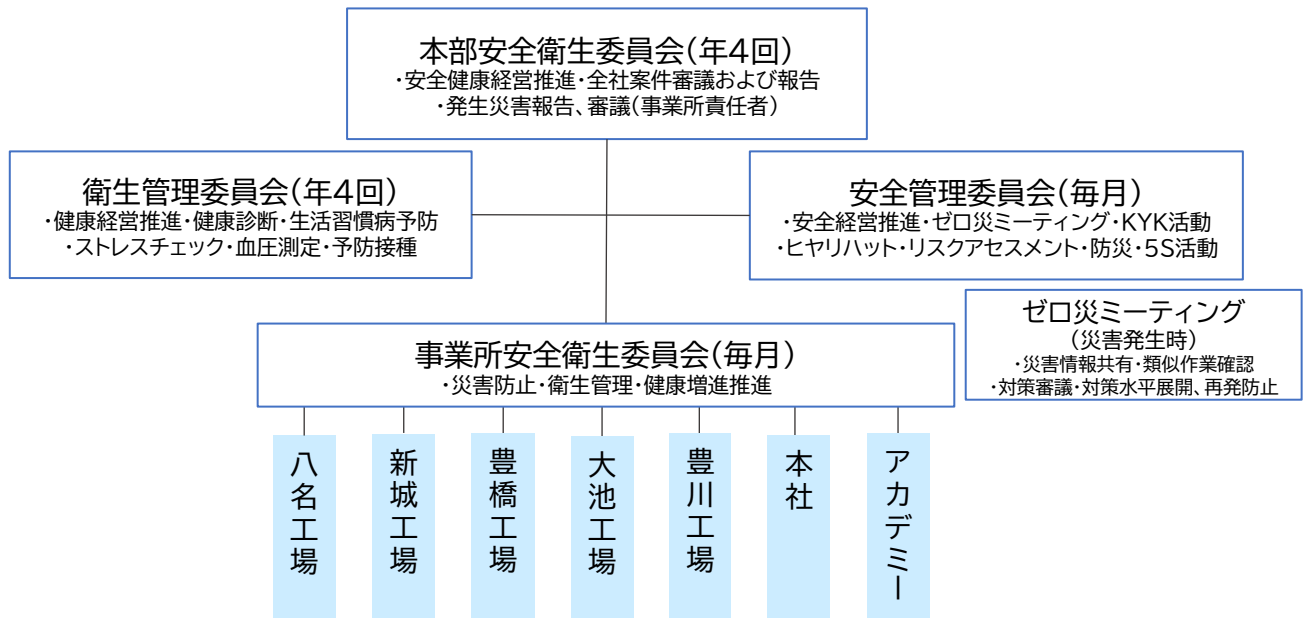
・産業医	2名(外部)	・衛生管理者	13名	・保健師	3名
・産業カウンセラー	1名(外部)	・安全管理者	7名	・安全健康推進事務局	6名

▶安全健康経営推進マネジメント体制

経営トップの安全健康経営に対する方針のもと、安全健康推進事務局と各事業所の安全・衛生事務局、職場、産業医などの専門スタッフが一体となり、活動を推進しています。また、外部機関とも協力し、活動に対する評価・効果の検証を実施しています。



▶全社安全衛生委員会構成



▶安全健康の深化

長い歴史の中で培われた経験と知識に基づき、安全健康の取り組みを着々と進めています。

「地球会社」「健康会社」「環境にやさしい会社」
を宣言

就業時間中の全面禁煙化



新型コロナウイルス感染症対策

「オーエスジー安全健康経営」を宣言

「オーエスジー安全健康経営白書」発刊開始

「健康経営優良法人2023(ホワイト500)」認定



「健康経営優良法人2024(ホワイト500)」認定



「愛知県健康経営推進企業」認定

「健康経営優良法人2025(ホワイト500)」認定

1996年

2001年

2002年

2007年

2016年

2020年

2021年

2022年

2023年

2024年

2025年

安全リスクアセスメント活動開始

安全衛生全社員教育開始

ゼロ災ミーティング開始(災害発生時)

安全体感研修開始



愛知労働局「危なさに向き合おう」活動開始

「安全衛生優良企業」認定



「リスクアセスメント推進事業場」宣言

「安全経営あいち賛同事業場」登録



▶その他の認定と参画

健康寿命をのばそう
SMART LIFE PROJECT

スマートライフプロジェクト
厚生労働省・スポーツ庁
食事、運動、けんしん、そして禁煙の
4つの柱で「健やかな国ニッポン」を
目指します。



人的資本経営コンソーシアム
経済産業省
人的資本経営の実践に関する先進
事例の共有や企業間協力に向けた
議論、情報の収集・発信と普及を行
います。



SAFEコンソーシアム
厚生労働省
従業員の幸せのための安全アクショ
ンを推進する活動体です。



スポーツエールカンパニー
スポーツ庁
社員の健康増進のためスポーツの
実施に向けた積極的な取組を行っ
ている企業を認定する制度です。

▶安全健康推進教育体制

教育対象者		就業資格	就業時・就業中教育
作業者	一般業務事業者		雇入時、作業内容変更時教育 定健または随時 危険再認識 高齢時
	危険・有害 業務事業者	就業制限 → 免許試験・技能講習 特別教育 その他危険有害 → 特別教育に準じた教育	
安全衛生に 係る管理者	安全管理者	選任時研修等 免許試験等 養成講習	能力向上教育
	衛生管理者 安全衛生推進者		
	作業主任者	免許試験・技能講習	職長教育
	職長		
	作業指揮者		選任、指名時 教育
	荷役災害防止担当者 交通労働災害防止担当者		
	化学物質管理者		スタッフ養成専門研修
健康保持増進スタッフ		メンタルヘルス推進のための教育研修	
メンタルヘルス推進担当者			
経営トップ	事業者 総括安全衛生管理者 管理職		安全衛生セミナー等

▶サプライチェーンやグループ会社に対する安全健康の取組

取引先に対してCSRヒアリングを実施し、法令遵守および安全衛生に関する啓発活動を行っています。
また、グループ会社を対象とした安全教育も実施しており、安全・衛生に関する意見交換や支援を通じて、
職場環境の向上に努めています。

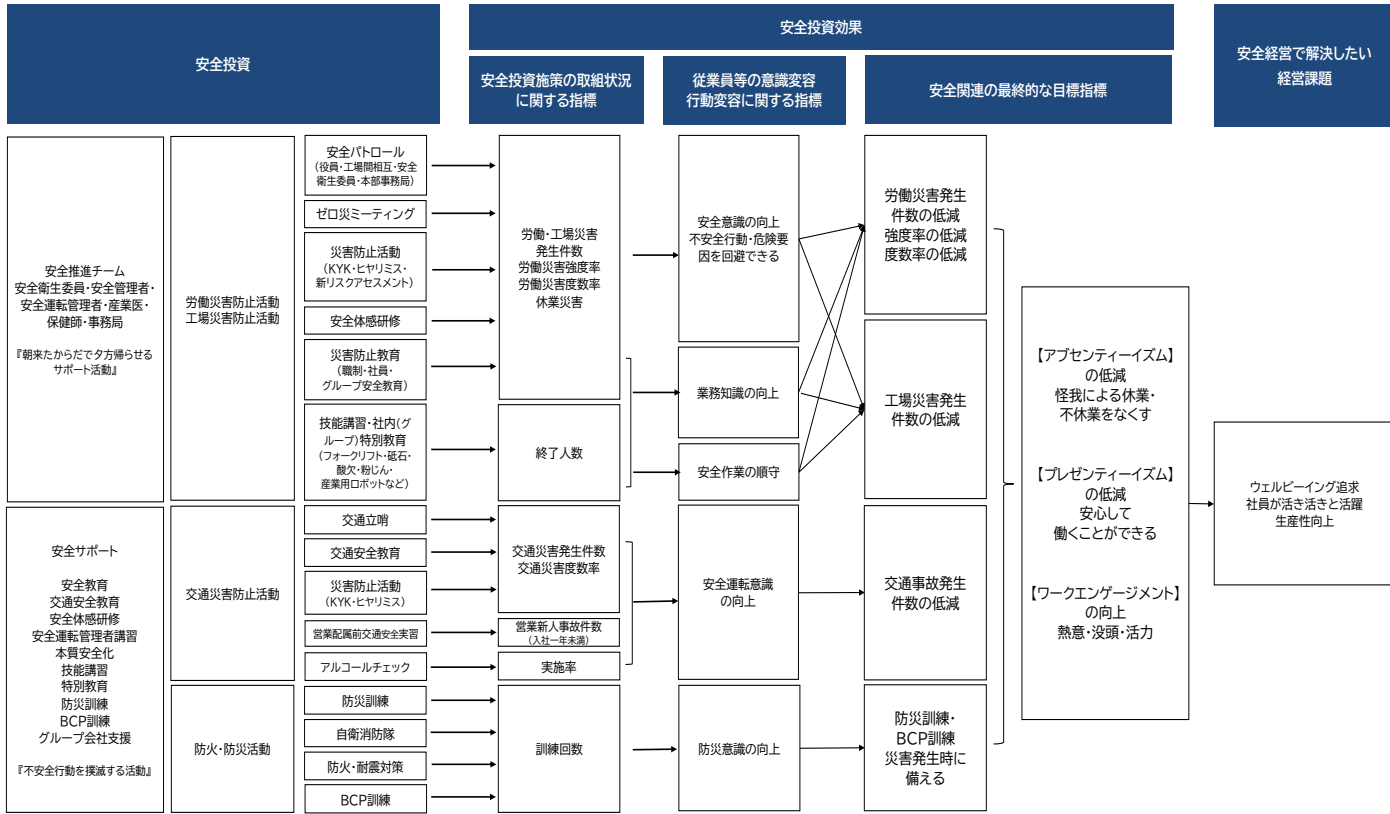


サプライチェーンに対する安全教育

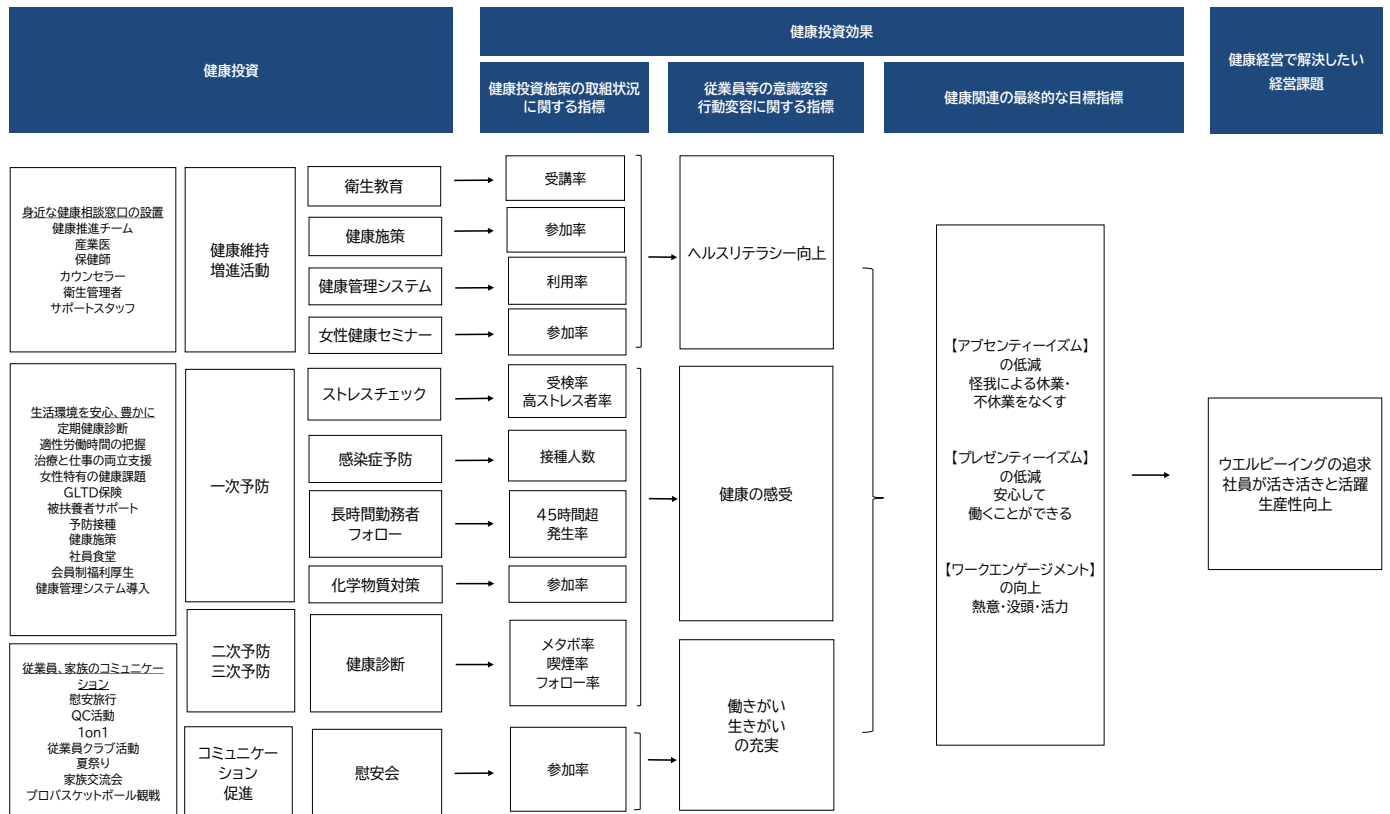


グループ会社に対する安全教育

▶安全戦略マップ



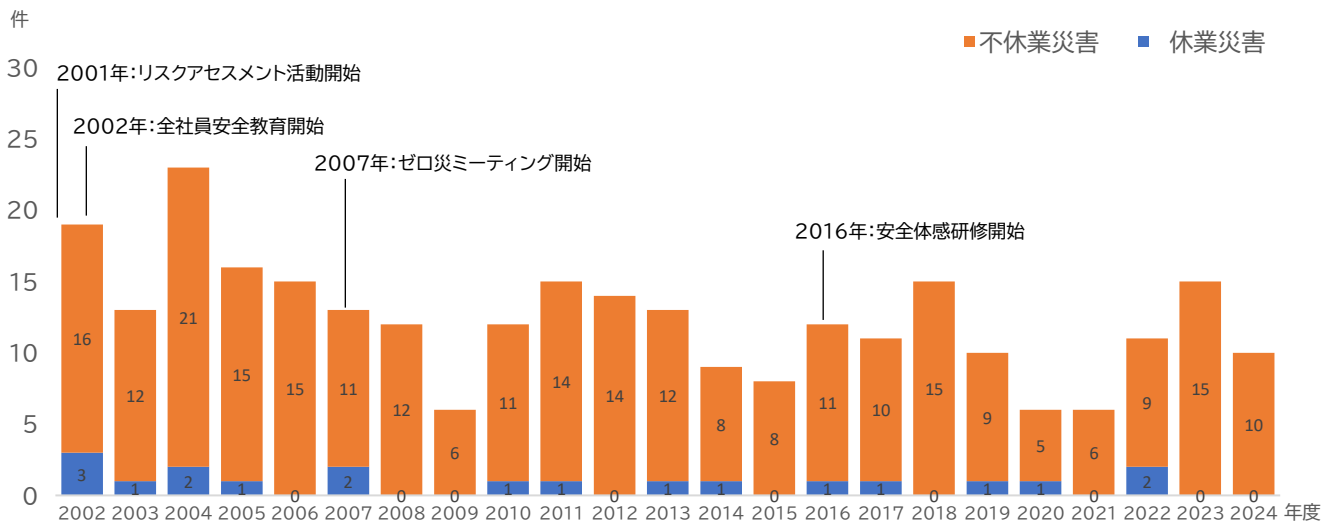
▶健康戦略マップ





▶労働災害状況

オーエスジー労働災害件数

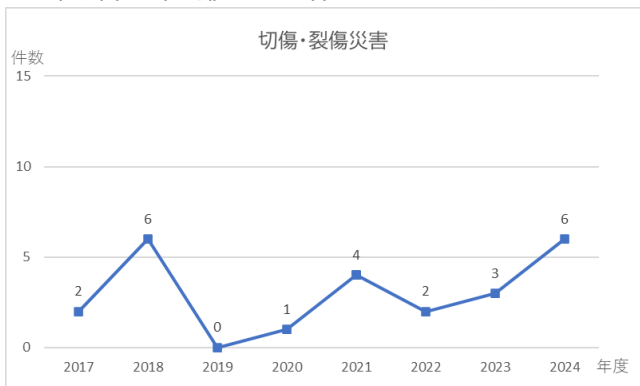


▶腕カバーの義務化

社員安全のため、2019年より「腕カバー」の着用を義務化しています。その結果、切傷・裂傷災害件数が、2011年～2018年の平均値が4.6件に対し、2019年以降の平均値は2.6件となりました。



腕カバー着用

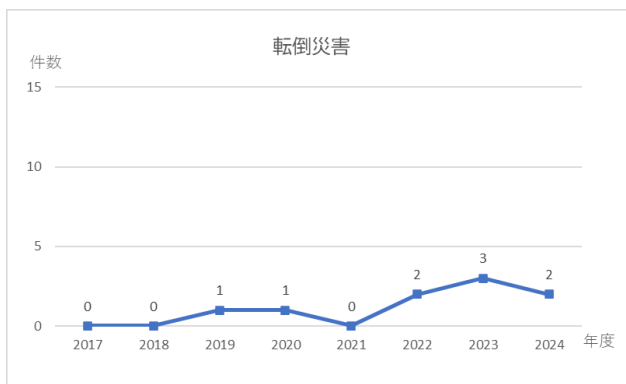


▶転倒・つまずき対策

社員の平均年齢の上昇とともに、転倒を起因とする災害のリスクが高まっています。転倒防止教育やハード面での対策に力を入れています。



つまずき転倒防止用バリアフリー化(八名工場)



▶安全教育

【管理監督者安全衛生教育】

管理監督者を対象とした安全教育を実施しています。
2025年度は外部から講師を招き、「ヒューマンエラー～人間の行動特性～」のテーマで実施しました。



【全社員安全教育】

危険作業をあえて経験し安全意識を向上させることを目的に、全社員を対象とした安全体感研修を開始しました。自動化による危険予知能力の低下や、増加する若年層の経験不足を補います。

【社内特別教育】

フォークリフト、砥石交換、酸素欠乏、粉じん、産業用ロボットの5つの教育を社内の特別教育として実施しています。



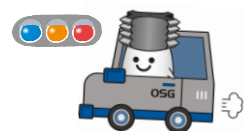
安全体感研修



フォークリフト教育

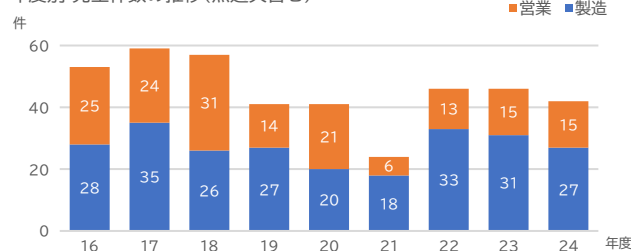
【交通安全教育】

全社員を対象とした交通安全教育を実施しています。
ビデオ教育や警察署の講師による講話などを通して、安全意識を高め、会社全体で交通事故ゼロを目指しています。

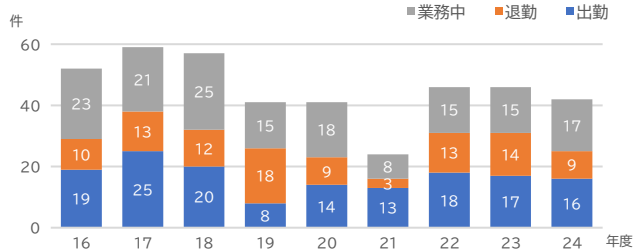


交通災害 発生件数の推移

年度別 発生件数の推移(無過失含む)



時間帯別 発生件数の推移(無過失含む)



▶地震災害BCP(事業継続計画)

社員の安全、企業の存続を考え、トップマネジメントのもと地震災害におけるBCPを策定し、訓練を実施しています。

想定地震モデル

南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうち、発生したことが明らかで規模の大きいもの(宝永・安政東海・安政南海・昭和東南海・昭和南海の5地震)を重ね合わせた過去地震最大モデルとしています。

想定BCP資料(一部)

各事業所被災想定

	事業所名	八名	新城	豊橋	大池	豊川	本宮	DC	本社	本野ヶ原
	所在地	新城市 富岡	新城市 有海	豊橋市 賀茂町	豊川市 一宮町	豊川市 白雲町	豊川市 上長山町	豊川市 一宮町	豊川市 本野ヶ原	豊川市 本野ヶ原
予測震度		6弱	6強	6強	6強	6強	6強	6強	6強	6強
ハザードマップ	地形	砂礫質台地	砂礫質台地	砂礫質台地	砂礫質台地	中位面	砂礫質台地	砂礫質台地	砂礫質台地	砂礫質台地
	液状化の可能性	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い
	表層地盤増幅率	0.87	1.09	0.91	0.99	1.12	0.84	0.99	1.12	1.12
	揺れやすさ	揺れにくい	揺れにくい	揺れにくい	揺れにくい	やや揺れにくい	揺れにくい	揺れにくい	やや揺れにくい	やや揺れにくい
	津波	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし
ライフライン復旧期間	電力	1日～4日 ▽電力会社からの電力供給ストップ								
	上水道	7日～30日 ▽水道局からの給水ストップ								
	下水道	7日～21日 ▽水道局からの給水ストップ								
	ガス	3日～7日 ▽安全点検後使用可能								
	通信/固定/携帯	1日～4日 ▽回線不通により通話不能								
	道路	3日～10日 ▽道路閉鎖又は交通規制等で大規模な交通渋滞								
鉄道	7日～30日 ▽鉄道は被害をうけ運休・一部限定運転									

注)表層地盤増幅率：1.5以下→揺れにくい、1.5超え→要注意、2.0以上→強い揺れ



BCP訓練

▶愛知労働局 安全経営あいち賛同事業場登録

「安全経営あいち®」の普及促進に賛同し、「安全経営」に取り組む姿勢と、その基礎となるリスクアセスメントに積極的に取り組む姿勢を示しています。各事業所で登録を行い、賛同事業所登録証が発行されました。

グループ・リスクアセスメント表

事業所名	事業所長	事業所長	事業所長	事業所長	事業所長	事業所長	事業所長	事業所長	事業所長
八名工場	田中 隆	田中 隆	田中 隆	田中 隆	田中 隆	田中 隆	田中 隆	田中 隆	田中 隆

1. リスク判定基準

① 発生頻度(1年あたり)	② 被害の大きさ	③ 被害の範囲	④ 被害の発生時期	⑤ 被害の発生場所	⑥ 被害の発生回数	⑦ 被害の発生回数	⑧ 被害の発生回数	⑨ 被害の発生回数	⑩ 被害の発生回数
---------------	----------	---------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

2. リスク評価

リスク	発生頻度	被害の大きさ	被害の範囲	被害の発生時期	被害の発生場所	被害の発生回数	被害の発生回数	被害の発生回数	被害の発生回数
A	高	大	大	大	大	大	大	大	大
B	中	中	中	中	中	中	中	中	中
C	低	小	小	小	小	小	小	小	小

3. 危険度判定

事業所名	リスク	危険度	対策	実施状況	評価
八名工場	A	高	対策あり	実施済み	合格

リスクアセスメント 抽出シート

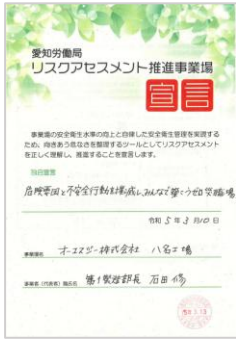


認定式



登録証(八名工場)

▶愛知労働局 リスクアセスメント推進事業場宣言



宣言書(八名工場)

リスクアセスメントを通じて危険性を総合的に評価し、自主的に改善を図る事業所であることを宣言することで、安全衛生管理水準の向上を目的としています。

これに伴い、各事業所の代表者は、自立した安全衛生管理の推進に対する強い決意を表明しました。

▶豊橋労働基準監督署 無災害記録証授与



大池工場および八名工場に対して「無災害記録認定証」が授与されました。

▶全社防災訓練



有事の際、自ら行動できることを目指し防災訓練を実施しています。また、各担当に分かれて「防災テント」「防災トイレ」の設置訓練も同時に実施しています。命を守るため迅速に防災組織を立ち上げ、サポートができる体制づくりをしています。



訓練の様子



テント設置



トイレ設置



煙中訓練



消防班



救護班

▶防災倉庫

各事業所に設置している防災倉庫。有事の際、即時対応出来るよう定期的に防災備品の見直しをしています。



防災倉庫



▶「オーエスジー健康ミッション25」の取り組み

2022年より「オーエスジー健康ミッション25」と題して、定期健康診断のデータを参考に「メタボリックシンドローム(予備群含む)率」「喫煙率」共に、25%まで減らすことを目標としています。各事業所でさまざまな健康施策を立案し、実施しています。

全社ウォーキング企画

「オーエスジー健康ミッション25」開始以来、初となる全社版ウォーキングイベントを開催しました。春の陽気の中、励まし合いながら、グループ会社を含む42名全員が無事ゴールへ到着しました。



チャレンジコースメンバー

・OSG本社から「ぎょぎょランド」「財賀寺」を巡る2コースを用意

🔥 A:チャレンジコース(18.8km)

👉 B:リラックスコース(9.2km)



菜の花畑の景色が最高！



財賀寺にて集合写真！

参加者の声

- ・自然や四季を感じ、心身ともに新たなリフレッシュ方法を発見できた！
- ・他工場の方々と交流ができて、良い気分転換になった。
- ・平坦な道だけではなく、多少負荷もあり良いコースだった。
- ・第二弾があれば参加したい！多くの人に良さを知ってもらい、一緒にウォーキングを楽しみたい！

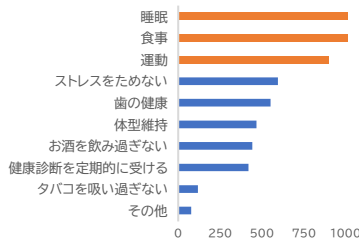
全社一斉 健康度調査

2025年度では、従来の健康経営指標項目に加え、「健康意識」「心の健康」「喫煙」についての設問も追加し、従業員の健康度を幅広く調査しました。

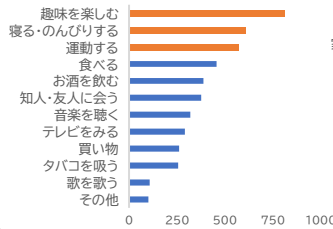


調査実施中

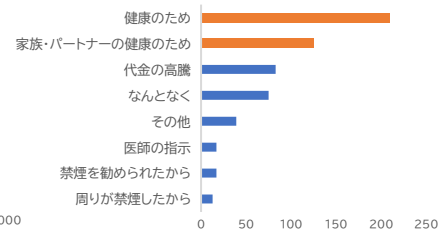
健康のため心がけていること (複数回答可)



心のストレス解消法 (複数回答可)



禁煙のきっかけ



各事業所の健康施策

【新年安全祈願登山(豊橋工場)】

2025年1月4日に「本宮山砥鹿神社奥宮」への安全祈願登山を実施。



【佐奈川ウォーキング(豊川工場)】

工場付近の佐奈川ウォーキングを実施。



【歩行姿勢測定・ロコモ診断(新城工場)】

歩行年齢・速度の測定、ロコモ診断を実施。



【健幸寄せ書き(大池工場)】

健康に関する個々の目標を表明し掲示。



【禁煙促進(アカデミー)】

スワンスワンデーの推進を実施。



【禁煙グッズお試し企画(八名工場)】

ニコチンレスの紙・電子タバコ、禁煙飴などの禁煙グッズを配布しました。



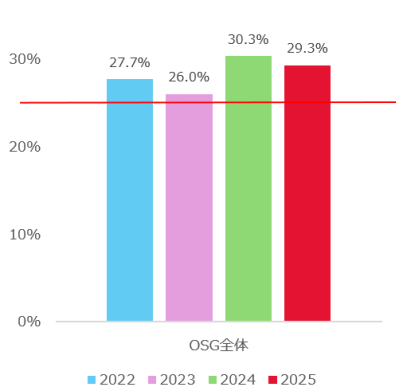
【ヘルスチェック・ラジオ体操(本社)】

血圧測定や握力測定などの簡単なヘルスチェックや、ラジオ体操を実施。

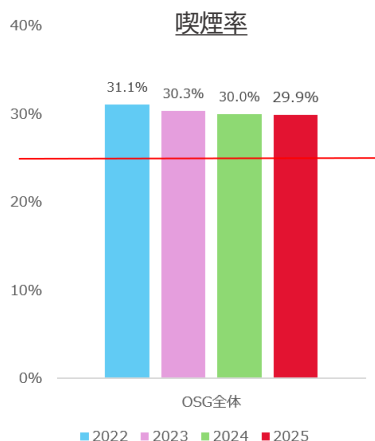


【結果】 2022年～2025年経年グラフ

メタボリックシンドローム率
(予備群含む)



喫煙率



「オーエスジー健康ミッション25」は、今年で4年目を迎え、各事業所の衛生管理者を中心に、さまざまな健康施策を継続的に実施してきました。数値目標の達成には至っていないものの、目指すゴールは、社員一人ひとりが「自身の健康について考えるきっかけ」を得ることです。今後も、健康への意識を高める取り組みを継続し、社員のウェルビーイング向上をサポートしていきます。



食のおいしさ

温かいものは温かく。冷たいものは冷たく提供。
各事業所にて、目の前で作るライブ調理も行っています。



ライブ調理の様子

喫食例

健康的な食事

野菜多めのメニューを提供しています。
メニューだけでなく、調味料にもカロリー表示
を行うことで、健康意識を向上させています。

MENU LINEUP 2/19 ~ 2/23

	2月19日 水	2月20日 木	2月21日 金
LUNCH A	豚の生姜焼き	鶏込みハンバーグ	豚肉と豆野菜の旨味丼
ランチ A	総菜501 598 kcal	総菜634 634 kcal	総菜502 502 kcal
LUNCH B	白身魚の電田揚げ レモン添え	焼き豆腐 中華あんかけ	チキンカレー
ランチ B	総菜501 501 kcal	総菜597 597 kcal	総菜811 811 kcal
その他	140 140 kcal	140 140 kcal	140 140 kcal
まごのへんろアツアツ	五目丼	マンチウ	

メニュー表



生まれるコミュニケーション

「楽しく食事ができれば、自然と笑顔とコミュニケーションが生まれる。」というコンセプトのもと、居心地よく、食事時間外もミーティングやオフィススペースとして利用できるようにしています。



zero-oneカフェテリア(新城工場)

わくわく感

給食スタッフも楽しみながらメニューづくりに協力。
時には有名店の食事やイベントメニューも実施し、
社員の笑顔づくりに貢献しています。

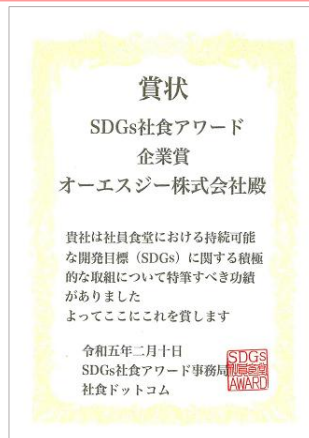


イベントメニュー例

▶社食アワード

社員食堂のサステナビリティに対する取り組みが認められ、「SDGs社食アワード 企業賞」を受賞しました。SDGs社食アワードは社員食堂におけるサービス、イベントなどによるSDGsの取組みを表彰するもので、1年間に5回以上SDGsの取組みを行うなど、一定の基準をクリアした社員食堂を対象に審査されます。

OSGは、環境に配慮した「ブルーシーフード」の採用、食品ロス削減のための活動、社員の健康を考えた野菜を多く、塩分を減らした健康的な食事の提供など社員食堂を通じ、誰もが幸せ、笑顔になる活動が評価されました。



SDGs社食アワード企業賞



減塩「しおへらメニュー」

▶全社衛生教育

年に1回、全社員を対象とした衛生教育を実施。保健師による教育資料をもとに衛生について学びます。



▶女性健康セミナー

職制教育の中に、保健師による「女性健康セミナー」を実施。女性特有の健康課題や、働きやすい環境づくりについて学びます。



職長教育

▶治療と仕事の両立支援

従業員の気持ちに配慮し、柔軟な働き方ができるように会社方針を定め、取り組んでいます。



面談の様子

▶営業所の健康意識

営業所のオフィス内にも健康意識を向上させる取り組みをしています。リラックスルームにバランスボール・リクライニングチェアの設置や、健康にいいとされる歩幅をマットに印すなど自然と健康意識を高めます。



リラックスルーム



歩幅マットと視力検査

▶社員・家族のコミュニケーションの促進

社員や家族の交流を深めるきっかけづくりとして、様々なイベントを開催しています。生きがいや働きがいを充実させ、ワークエンゲイジメントの向上を目指しています。



プロバスケットボール試合観戦



慰安会



家族工場見学会



夏祭り

社会活動 —社会貢献する活動—

▶EV車導入

社有車11台を電気自動車(EV)に切り替え、4事業所にEV充電スタンドを設置しました。また、水素自動車も導入し、省エネ・省資源への取り組みを通じて、カーボンニュートラルな生産体制の実現を目指しています。



EV車



EVスタンド

▶オーエスジードリームコート

地域貢献の一貫として、豊川市庭球場のネーミングライツを取得し、「オーエスジードリームコート」としてオープンしました。オープニングイベントには元プロテニスプレイヤーの杉山愛さんをゲストに迎え、現在では幅広い世代・分野の方々に親しまれています。



オーエスジードリームコート



杉山愛さんとオーエスジードリームコート硬式テニス部



▶東三河安全交流会

JAM東海(労働組合)主催の東三河安全交流会に労使で参加しました。安心、安全は労使共通の永遠テーマです。他社と意見交換をしながら交流することで、情報収集や今後の課題を見つける機会となりました。



交流会終了後の集合写真



交流会の様子

▶豊川市主催「とよかわ健幸マイレージ」協賛

豊川市が主催する「とよかわ健幸マイレージ」に協賛し、市民の健康を応援しています。



とよかわ健幸マイレージ案内用紙



タンブラー(10名様分)
オーエスジードリーム協賛

協賛景品(タンブラー)

▶スポーツイベント賛助

地域で行われる様々なスポーツイベントに協賛し、多くの社員も参加をしています。

- ・豊川シティマラソン
- ・新城マラソン

出典元:豊川市役所教育委員会
スポーツ課 豊川シティマラソン



▶献血活動

日本赤十字社の献血バスが来社し、多くの社員が積極的に献血活動に協力しています。



献血受付

▶普通救命講習

消防署から講師を招き、職制や職場推薦された社員が普通救命について学びます。



講習の様子



▶5S活動

社員全員が5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)を習慣付けています。会社の周辺、社内や身の回りの5S活動を定期的に行います。



本社周辺清掃



▶交通安全活動

毎月交通安全活動を実施し、地元の安心と事故防止に役立てています。



交通立哨



▶スポーツ施設による健康づくり

社内施設「ユーカリ倶楽部」の室内プールやジムを活用しています。また、毎週ヨガ教室も開催しています。



ユーカリ倶楽部(室内プール)



ヨガ教室の様子

▶緑のカーテン設置

豊橋工場では緑のカーテンとしてゴーヤを栽培し、工場内の温度低下と省エネに貢献しています。収穫したゴーヤは社員の食卓にも届けられています。



豊橋工場緑のカーテン(ゴーヤ)

▶学生の実習受け入れ

豊橋創造大学の看護学生を対象に、産業保健実習の受け入れを行っています。



実習の様子

▶健康優良企業法人との交流

健康優良法人を目指す企業を訪問し、情報共有や比較を通じて、日々の健康課題の発見と改善に取り組んでいます。



交流の様子

～社員とともに築く、安全健康経営の進化と定着～

当社では、2022年から安全健康経営白書を発刊し、今年で4年目を迎えました。これまでの取り組みを記録・発信することで、過去を振り返りながら、社員の安全と健康の向上を目指しています。先人の尽力を受け継ぎ、新たな挑戦を考えるきっかけにもなっています。

社員一人ひとりが安全と健康を「自分ごと」として捉える重要性を発信し、社内では意識の定着と行動の変化が見られるようになりました。

今年度は、社内報で各事業所の健康施策を紹介し、社内全体で情報共有を図りました。健康度調査も定着し始め、個々の健康状態を客観的に把握する機会となっています。全社版ウォーキングは部署や拠点を越えた交流の場となり、運動習慣づくりへの意識を高めるきっかけとなりました。

また、3年連続で「健康経営優良法人(ホワイト500)」に認定され、各グループ会社における安全健康への取り組みも一層強化されています。これらの活動は、社員の自発的な行動を促す土台となり、社内全体で健康経営を実践する環境づくりへと繋がっています。

安全健康経営は短期間で成果が見えるものではなく、継続的な努力と時間をかけた浸透が必要です。企業としての取り組みに加え、社員自らの安全と健康に責任を持ち、行動に移すことが重要です。

当社は今後も「継続」と「進化」の視点を活かし、安全で健康な職場環境づくりと社員のウェルビーイング向上を力強く支援してまいります。安全健康経営は、企業の健やかな成長とあり方を支える力であり、私たちはその価値を信じて歩み続けます。

安全健康推進事務局

データベース

組織	2021	2022	2023	2024
従業員数	2,204人	2,219人	2,175人	2,222人
平均年齢	42.5歳	43.1歳	43.6歳	43.9歳
平均勤続年数	18.8年	19.3年	19.7年	20.0年
離職率	1.8%	2.7%	3.9%	2.6%

労働	2021	2022	2023	2024
総実労働時間(月平均)	160.6時間	162.1時間	157.6時間	157.8時間
所定外労働時間(月平均)	15.5時間	18.9時間	14.0時間	13.7時間
法定外労働45時間超発生率	8.7%	7.8%	9.5%	6.5%
有給休暇取得率(年間)	58.9%	63.5%	68.1%	66.1%
有給休暇取得日数(年間平均)	11.7日	12.2日	13.0日	12.7日

健康診断	2021	2022	2023	2024
定期健康診断の受診率	99.8%	100%	100%	100%
精密検査の受診率	31.0%	31.4%	50.9%	52.1%
有所見者率	49.0%	49.7%	51.0%	52.2%
保健指導実施率	100%	81.7%	91.0%	92.9%

労働災害	2021	2022	2023	2024	
労働災害率	度数率	0.000%	0.554%	0.000%	0.000%
	千人率	0.000%	1.063%	0.000%	0.000%
	強度率	0.00000%	0.01635%	0.00000%	0.00000%
労働災害により損失した労働時間	48時間	88時間	120時間	80時間	

安全	2021	2022	2023	2024
安全体感研修の参加者数	80人	200人	260人	264人
管理監督者安全教育の参加者数	68人	70人	324人	273人
社内特別教育の参加者数	88人	307人	294人	232人

生活習慣	2021	2022	2023	2024
20歳から体重が10kg以上増加している人の割合	32.4%	32.2%	33.3%	34.7%
朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合	16.1%	16.6%	17.4%	18.0%
就寝2時間以内に夕食をとることが週3回以上ある人の割合	17.7%	17.8%	18.4%	17.8%
朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取する人の割合	17.1%	17.7%	18.4%	19.5%
30分以上の運動を週2日以上している人の割合	24.3%	24.1%	24.5%	25.7%
歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上行う人の割合	31.2%	31.4%	31.1%	32.4%
睡眠で休養が十分とれている人の割合	48.5%	50.0%	50.2%	49.2%
生活習慣の改善中の人の割合	36.0%	36.7%	37.5%	37.1%
従業員のヘルスリテラシー	—	3.26	3.49	3.40
メタボリックシンドローム比率(予備群含む)	27.9%	27.7%	26.0%	30.3%
血圧治療者率	11.0%	11.9%	12.3%	12.4%
血糖治療者率	3.9%	4.1%	4.3%	4.5%
脂質治療者率	7.5%	7.9%	8.7%	9.7%
高血圧者のうち治療中	195人	217人	225人	221人
疾病による休職者発生率(年間)	0.43%	0.27%	0.60%	0.33%
適正体重者率(40歳以上)	65.4%	66.5%	66.6%	66.5%
喫煙率(40歳以上)	32.8%	31.0%	30.3%	29.6%
運動習慣者比率(40歳以上)	23.4%	23.3%	24.2%	25.8%
適正睡眠者比率(40歳以上)	44.5%	45.4%	47.7%	47.3%
(2024年～飲酒リスク者率)飲酒習慣者率(40歳以上)	12.2%	10.3%	11.8%	16.0%
血圧リスク者率(40歳以上)	0.7%	1.2%	0.9%	1.1%
血糖リスク者率(40歳以上)	0.0%	0.4%	0.1%	0.6%
糖尿病管理不良者率(40歳以上)	0.8%	1.2%	1.4%	1.5%

衛生	2021	2022	2023	2024
衛生教育受講率	—	96.7%	100.0%	100.0%
健康施策参加率	—	—	28.0%	23.5%
健康施策参加への満足度	—	97.7%	92.0%	88.6%
女性教育参加率	—	82.3%	100.0%	100.0%
職場慰安旅行参加率	中止	中止	67%	71%
慰安旅行補助金額	—	—	1143万円	1424万円
予防接種人数	1436人	1290人	1289人	1292人

メンタルヘルス	2021	2022	2023	2024
ストレスチェック受検率	94.6%	81.9%	93.0%	92.3%
高ストレス者率	13.4%	11.6%	11.8%	13.6%
仕事の量的負担の平均得点	8.3点	8.5点	8.3点	8.5点
仕事のコントロールの平均得点	8.5点	8.5点	8.5点	8.5点
上司の支援の平均得点	8.0点	8.2点	8.2点	8.1点
同僚の支援の平均得点	8.1点	8.1点	8.2点	8.1点

パフォーマンス指標	2022	2023	2024	2025	
プレゼンティーイズム	86.3	80.9	80.4	75.6	
アブセンティーイズム	1.22	1.08	1.76	—	
エンゲイジメント	活力	3.08	3.01	2.69	2.72
	熱意	3.58	3.50	3.35	3.35
	没頭	3.10	3.13	2.93	2.89
	平均	3.25	3.21	2.99	2.99
測定人数	プレゼンティーイズム	573人	454人	1460人	1990人
	アブセンティーイズム	2122人	2085人	1900人	—
	エンゲイジメント	573人	454人	1460人	1990人
回答率	プレゼンティーイズム	25.8%	20.8%	71.7%	98.7%
	アブセンティーイズム	100%	100%	100%	—
	エンゲイジメント	25.8%	20.8%	71.7%	98.7%

指標	測定方法	測定基準
プレゼンティーイズム	東大1項目版(SPQ)年1回、全社員を対象に実施	損失率の算出式:100 - 回答率(例:回答が80%なら損失率20%) ・全国平均(例:〇〇年度平均△△%)を基準とし、自社の損失率がこれを上回る場合は、改善の必要性を検討。経年比較や乖離分析を通じて健康施策の効果検証に活用。
アブセンティーイズム	2024年度より算出方法を変更。傷病による休暇等を合算し、正社員数で算出。	・全国平均(例:〇〇年度平均2.6日)を基準とし、自社の平均日数がこれを上回る場合は、改善の必要性を検討。経年比較や乖離分析を通じて健康施策の効果検証に活用。
エンゲイジメント	ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント尺度(UWES)年1回、全社員を対象に実施	・全国平均スコア(例:〇〇年度平均スコア3.8)を基準とし、自社スコアがこれを下回る場合は、改善の必要性を検討。経年比較や乖離分析を通じて健康施策や職場環境改善等の効果検証に活用。